

齊村一号窖藏

1978 年 5 月 5 日晚、法門鎮の修復工事の際、齊村陂塘西北角から 3 件の銅器が発見された。

𩇑 簋

1978 年、齊村一号窖藏出土。扶風県博物館蔵。

通高 59 cm、口径 43 cm、腹深 23 cm、

最大腹囲 136 cm。

重さ(修復後)60 kg。

耳長 43 cm、寛 18 cm、厚 5 cm、

両耳間最大 75 cm。

座長 43 cm、高 21 cm。

出土時、すでに圧縮され砕けていた。𩇑簋は現在知られる商周銅簋のうち最大で、堂々とした作で、「簋中の王」といわれている。しかも唯一出土地点の明確なものである。

器の下に方座をもち、口縁は肥厚し、外返して広がり、左右一対の象首形をした耳が見られる。頸部と圈足に竊曲紋を飾り、腹部と方座は直稜紋、方座の四隅には変形した饕餮紋が見られる。

簋は西周時代の食物を盛る器であり、現在の大碗に相当する。黍、粳、糯、粟などの主食を盛った。

『礼書』の記載や考古学的発見によれば、簋は常に偶数で用いられ、天子は八簋九鼎、諸侯は六簋七鼎、卿大夫は四簋五鼎というように用いる数によって貴族の階級を表わしている。

内底には 12 行 124 字の銘文が鑄られている。銘文によれば、私は心を尽して先王の事業をうけつぎ経営してきた。私は義士献民をもって先王宗室に奉祀するものである。私はこの特大の宝簋を作り、先宗列祖を祭祀し、皇王の大命を祈求し、王位と長命を佑け、多福と長寿と知恵を賜わり下さんことを祈るとあり、周の天子厲王に係わり、先王を祭祀するために作られたことがわかる。



釋 文

王日「有余雖小子 余亡康晝
夜 經擁先王 用配皇天 橫
致朕心 施于四方 肆余以
義士獻民 稱調先王宗室」
𩇑作𩇑彝寶簋 用康惠朕
皇文烈祖考 其格前文人
其頻在帝廷陟降 綽周皇
〔帝〕大旅命 用令保我家 朕
位 𩇑身 匭匭降余多福 宣導
訐謨遠猷 𩇑其萬年將實
朕多禦 用萃壽 勾永命 駿
在位 作氏在下 佳王十又二祀